

会 議 録

会議の名称	平成27年度第6回 藤岡地域会議
開催日時	平成27年9月8日午後6時30分開会・午後7時30分閉会
開催場所	藤岡総合支所旧議会棟 会議室
出席者氏名	別紙のとおり
欠席者氏名	別紙のとおり
事務局職員職氏名	別紙のとおり
その他出席者等	別紙のとおり
会議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・佐野藤岡インター周辺開発事業費について（産業基盤整備課報告） ・事業計画書について（地域予算提案制度） ・栃木市自治基本条例に基づく栃木市市民会議委員の推薦について
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	無し
その他必要事項	無し
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>（1）佐野藤岡インター周辺開発事業費について（産業基盤整備課報告）</p> <p><説明></p> <p>◎会長 ○担当課 担当課に対し、協議事項の説明を求めた。 資料に基づいて説明した。</p> <p><質疑・意見></p> <p>◎会長 ◎A委員 委員に対し、意見を求めた。 要望も兼ねての質問だが、佐野市が行っている佐野田沼インター周辺の造成・開発・分譲のように、藤岡でも少しでも早く企業誘致に持って行ってほしいという気持ちがある。今回の佐野藤岡インター周辺開発事業では、いつ頃に造成及び分譲を目指しているのか。</p> <p>○担当課 法による規制があるため、明確な時期は示し難い。開発エリア全員の同意が得られてからスタートとなるが、その同意を得られてから6、7年程度はかかると思われる。現状では、市街化区域に編入し、開発するための手続きを進めるために相当の時間がかかってしまう状況である。</p> <p>◎A委員 事業面積80ヘクタールの地権者全員の同意を得るのは困難だ。1期、2期というようにエリアを分けて、実現時期を早めるよう検討してほしい。また、道路アクセスについても、スムーズになるよう整備を考えてほしい。我々が</p>

	求めているのは、一日も早い企業誘致の基盤づくりであるので、よろしくお願ひしたい。
○担当課	開発区域を定めるためには、基本的に地権者全員の同意が無いとスタート出来ない。栃木市の中には、インターチェンジが3つあり、開発についてそれぞれ地元では期待をされているところだ。合意形成の熟度により事業の優先順位付けが出てくる部分もあるため、今後研究会を設立し、地元の合意形成が一日でも早く出来るよう取り組んでいきたい。
◎A委員	対象エリア周辺で、大規模な産業用太陽光発電施設の建設が計画されているという話も聞いている。個人的には、そのことが合意形成の支障とならなければ良いと考えている。
◎B委員	事業面積が80ヘクタールとあるが、全面的に合意形成がされなかった場合、事業エリアは部分的に縮小されてしまうということか。
○担当課	そのようになる。
◎C委員	資料の中に、現在使用されている耕作放棄地を含む農地62ヘクタールとあるが、現在耕作されている農地はどの程度か。
○担当課	担当課で現地を調査し、図面上でおよその面積を表したものであるため詳細についてはご容赦願ひたい。
◎D委員	昨年度のふれあいトークにおいて、佐野藤岡インター周辺は、産業用地として可能生を持ったエリアであり、地域人口が減少する中で、どんどん企業誘致をしてもらいたいと意見を述べた。その後、足利市と野木町では、県に対して産業団地造成について要望をしたと聞いた。そのような手法を選ぶ可能性はあると思うが、栃木市としては考えているのか。また、栃木市は、北関東道や国道などが通っており、交通インフラが整っている地域である。南海トラフ地震の発生などが想定される中、内陸型の工業団地に追い風が吹いている中で、栃木市として大きく舵をきって取り組んでいただきたい。
○担当課	栃木市においては、総社東産業団地が、県の企業局で造成され、完売したところだ。現在、西方の宇都宮西中核工業団地で6区画程空きがあるが、その他は完売状態である。北関東3県は、全国で10番内に入る程、工業団地の需要が多い場所である。周辺自治体もそれぞれに取り組んでおり、自治体間競争であることを認識しながら、取り組んでいきたいと考えている。
◎会長	他に意見等が無いため、質疑を打ち切り担当課に退席を求めた。
	(2) 事業計画書について(地域予算提案制度)
	<説明>
◎会長	事務局に対し、協議事項の説明を求めた。
○事務局	資料に基づいて説明した。
	<質疑・意見>
◎会長	委員に対し、意見を求めた。
◎C委員	田中正造翁銅像周囲整備事業について、看板だけを整備するのに99万円もか

○事務局	<p>かるのか。</p> <p>入札または見積合せにより事業を市で行うことになるが、実際にはこの予算を下回ると思われる。ただし、予算の作り方として、99万円の予算を立て、余った額は不用額となり、別の事業に自由に使うことは出来なくなる。</p>
◎A委員	<p>二つの事業を実現するために、まずは予算を決めなければ進まない。つまり、事業計画書により予算を確定することが第一である。前回も協議したように、事業計画書の提出後、適宜事務局から進捗状況の報告をもらいながら、地域会議の考えを事業に反映させていくことになるのである。よって、今回は、この内容で了承すべきである。</p>
◎C委員	<p>通常の碑文のみの看板であれば、もっと低額で作ることが可能と考える。もっと他の事業に使うべきではないか。</p>
◎会長	<p>気持ちはわかるが、前回も検討したことである。今回は、我々委員も初めてのことで慣れない中の作業であった。来年度は、部会の組織を生かしながら、より藤岡地域の活性化に繋がるような事業を提案出来るようにしていきたい。</p>
◎D委員	<p>余った予算について、仮に来年度も別に地域予算が付いた場合、今回余った予算をプラスして来年度地域予算として取り扱うことが出来るのか、確認したい。</p>
○事務局	<p>単年度予算であるため、今年度は288万円、来年度は新たに288万円の予算となる。</p>
	<p><採決></p>
◎会長	<p>今年度の事業計画書については、案のとおり了承してよろしいか。</p>
◎委員	<p>《 了承 》</p>
	<p>(3) 栃木市自治基本条例に基づく栃木市市民会議委員の推薦について</p>
	<p><説明></p>
◎会長	<p>事務局に対し、協議事項の説明を求めた。</p>
○事務局	<p>資料に基づいて説明した。</p>
◎会長	<p>委員に対し、立候補を求めた。</p>
◎会長	<p>立候補する委員がいなため、田中委員を推薦する旨述べた。</p>
	<p><採決></p>
◎会長	<p>田中委員を推薦することについて、委員に対して異議の有無を確認した。</p>
◎委員	<p>異議無しの声。</p>
◎会長	<p>異議がないと認め、田中委員を推薦することを宣言した。</p>
	<p>(3) その他</p>
◎会長	<p>委員に対し、その他の協議事項の有無について確認した。</p>
◎会長	<p>意見等が無いため、議事の終了により、以降は事務局が進行する旨を述べた。</p>
	<p>4 その他 (事務局から)</p>

<p>○事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・藤岡統合保育園開園に伴う周辺通学路危険箇所への安全対策の状況について ・委員名簿の配付について ・地域自治交流会の開催について ・栃木市「地域づくりと協働の講演会」の開催について ・まちづくり懇談会ふれあいトークの開催について ・ゆるキャラグランプリでの栃木市マスコットキャラクター「とち介」への投票依頼について ・懇親会の案内について <p>以上、7点の連絡を行った。</p> <p>(委員から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が設置する審議会等の委員報酬について確認があった。 ・渡良瀬川舟下りモニターツアーのチラシ配付があった。 <p>次回会議の開催日程については、正副会長と事務局で協議の上決定し、通知する旨連絡した。</p>
<p>○事務局</p>	<p>5 閉会</p> <p>午後7時30分をもって第6回藤岡地域会議を閉会する旨を宣言した。</p>

別紙 出席者及び事務局職員

出席者（委員）

会 長	小曾根 慎 一	副会長	田 中 廣
委 員	飯 塚 俊	委 員	池 田 昇
委 員	石 川 悦 史	委 員	斎 藤 久 美
委 員	田 熊 豊 和	委 員	毛 塚 麻由美
委 員	酒 井 一 則	委 員	福 地 智 子
委 員	山土家 光 幸	委 員	萩 原 繁
委 員	町 田 佳 子		

欠席者（委員）

委 員	井 岡 治	委 員	小笠原 義 仁
委 員	田 村 孝 子		

出席者（事務局職員）

藤岡総合支所

田 中 徹（藤岡総合支所長）
（藤岡地域まちづくりセンター）
飯 塚 勝（地域まちづくり課長）
山 市 進（同 主幹）
亀 田 ミユキ（同 主査）
五十畑 文 寛（同 主査）